

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-277758

(43)公開日 平成9年(1997)10月28日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>

B 4 2 D 15/04

識別記号

庁内整理番号

F I

B 4 2 D 15/04

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平8-113263

(22)出願日 平成8年(1996)4月9日

(71)出願人 390039240

イセト紙工株式会社

京都府京都市右京区梅津高畝町44番地

(72)発明者 石田信之

京都府京都市右京区梅津高畝町44番地 イ

セト紙工株式会社内

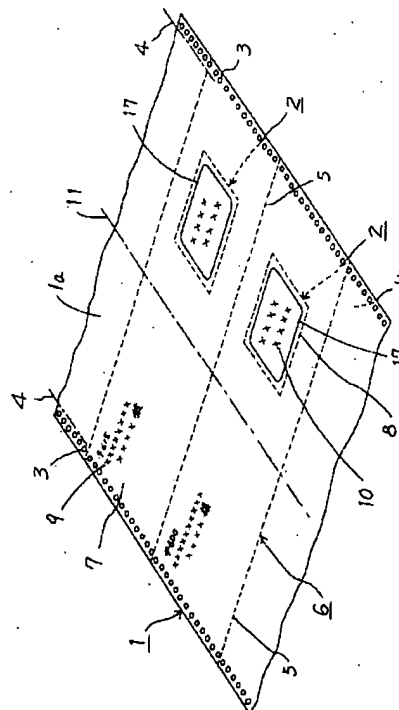
(74)代理人 弁理士 武石 靖彦 (外1名)

(54)【発明の名称】 カードを一体的に組み込んだ連続フォーム

(57)【要約】

【課題】連続フォームに会員証などの各種カードを剥離可能に組み合わせ一括的に取り扱い得るようになし、且つ情報処理可能になすこと。

【解決手段】連続印字処理が可能な連続フォーム1と、連続フォームの裏面1bの単位フォーム域6内に取り付けられる横寸法 $X_1$ 、縦寸法 $Y_1$ の裏当て構造体2とからなり、裏当て構造体は、連続フォームの裏面に第1の接着剤層12を介して貼り合わされる透明シート層13と、透明シート層に第2の接着剤層14を介して貼り合わされる貼付紙15とからなり、裏当て構造体の面域内に、横寸法 $X_2$  ( $X_2 < X_1$ )、縦寸法 $Y_2$  ( $Y_2 < Y_1$ )のカード形成領域16を、連続フォームの表面側から貼付紙の表面に達するダイカット17によって区画形成してなり、カード形成領域を前記透明シート層と第2の接着剤層との間で剥離可能にしたカードを一体的に組み込んだ連続フォーム。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータ等によるデータ印字処理が可能であり、印字送り長さ方向に所定の間隔をおいて設けた横断ミシン目線によって単位フォームを区画形成してなる連続フォームと、

前記連続フォームの裏面側であって、各単位フォーム域毎に予め定められた領域部分に対して取り付けられる横寸法 $X_1$ 、縦寸法 $Y_1$ でなる裏当て構造体とからなり、前記裏当て構造体は、前記連続フォームの裏面に第1の接着剤層を介して貼り合わされる透明シート層と、前記透明シート層の他方の面に第2の接着剤層を介して貼り合わされる貼付紙とからなり、

前記連続フォームの裏面側に取り付けられる裏当て構造体の領域内に、横寸法 $X_2$  ( $X_2 < X_1$ )、縦寸法 $Y_2$  ( $Y_2 < Y_1$ )でなるカード形成領域を、前記連続フォームの表面側から前記貼付紙の表面に達するダイカットによって区画形成してなり、

前記連続フォームの表面側であって、前記単位フォーム域毎に、前記カード形成領域およびその残余領域に対応印字処理が可能な印字部を備え、

前記カード形成領域を前記透明シート層と前記第2の接着剤層との間で剥離可能にしたことを特徴とするカードを一体的に組み込んだ連続フォーム。

【請求項2】 前記裏当て構造体における前記第1の接着剤層と前記透明シート層とが、一方の面に粘着剤層を備えた透明フィルムラベルによって構成されるものからなり、前記透明フィルムラベルを前記粘着剤層を介して前記連続フォームの裏面側に貼り合わせてなることを特徴とする請求項1に記載のカードを一体的に組み込んだ連続フォーム。

【請求項3】 前記連続フォームの裏面側であって、前記各単位フォーム域におけるカード形成領域毎に、所望の伝達情報を予め印刷処理によって表示形成してなることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のカードを一体的に組み込んだ連続フォーム。

【請求項4】 前記各カード形成領域毎に、前記ダイカットに隣接して前記第2の接着剤層の一部を部分的に除去してなることを特徴とする請求項1～請求項3に記載のカードを一体的に組み込んだ連続フォーム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、特定の情報を処理してなる会員証、招待券、身分証明証などの各種カードと、該カードの処理情報に対応する特定の情報を処理してなる送り状あるいは案内状などの情報処理シートとを一括して取り扱い得るように、カードと情報処理シートとをコンピュータ装置等における連続印字処理システムに適合するように一体的に形成した連続フォームとして構成し、カードを連続フォームから剥離可能なものとしたカードを一体的に組み込んだ連続フォームに関する

ものである。

## 【0002】

【従来の技術】周知のように、経済流通あるいは情報処理の多様化にともない種々の分野において多様化したカードが利用されている。これらのカードは、その使用目的に応じて予め特定の情報が処理されており、製作者側から使用者側に渡される際に、一般的には、該カードの処理情報に対応する特定の情報を処理してなる情報処理シートを添えた状態で一括して取り扱われている。

10 【0003】この種のカード発行システムにおいては、製作者側では、カードの情報処理を行い、さらにこれに対応する情報処理シートの情報処理を行って、カードと情報処理シートとを対応させて取り扱わなければならないという作業的な困難性を有している。

【0004】従来、この種のカード発行システムでは、たとえば、以下に示すような構成のものが採用されている。従来、耐久性を持たせたカードを付加したカード一体型フォームを製造する際には、図4Aに示すもののよう

20 21 21a 22 23 24 25 26 27 28 29 29a 29b 29c 29d 29e 29f 29g 29h 29i 29j 29k 29l 29m 29n 29o 29p 29q 29r 29s 29t 29u 29v 29w 29x 29y 29z 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

に、コンピュータ装置等による連続印字処理が可能な連続台紙21に対し、その表面側21aに、合成紙系もしくはPET系のカード形成部材22を貼り合わせた構造のものとして提供されている。

【0005】図4Aに示す従来のカード付き連続フォームにおけるカード形成部材22は、以下に示すような積層構造体のものからなっている。カード形成部材22は、例えばポリエチレンテレフタレート等の自己粘着性を有するシート材であって、互いに気密的に粘着し、対向する各粘着面23A、24Aに沿って剥離可能な第1のプラスチックベースシート層23および第2のプラスチックベースシート層24と、当該カード形成部材22を連続台紙21上に貼り合わせるべく第1のプラスチックベースシート層23の裏面23Bに設けた第1の接着剤層25と、第2のプラスチックベースシート層24の表面側24Bに、第2の接着剤層26を介して接着されるオーバーラミネートシート層27とを備えている。

【0006】このカード形成部材22は、前記オーバーラミネートシート層27と、前記第2のプラスチックベースシート層24を通して所定形状のカード体28を区画形成するダイカットライン29を設けてなり、前記ダイカットライン29に沿って前記カード体28を剥がし取り可能になしてある。前記カード形成部材2におけるオーバーラミネートシート層27の表面側27Aは、コンピュータ装置等における連続印字処理システムによる印字面を構成するものである。

【0007】図4Aに示すような従来の構造のカード付き連続フォームは、連続フォームの表面側、即ち印字面側にカード形成部材22による凹凸が発生するため、例えばNIP（ノンインパクトプリンタ）等で印字した場合、プリントドラムを破損させる危険性、さらには連続フォームの搬送時においてカードが脱落してしまうなど

3

の問題点を有していた。

【0008】一方また、従来の他の方法として、図4Bに示すもののよう、コンピュータ装置等による連続印字処理が可能な連続台紙31に対し、その裏面側31aのカード構成部に透明PET材32を貼り付け、ダイカット止め加工33（ダイカット止め加工とは、カット部分33aと、概して点状の非カット部分33bとによって構成される）を施し、カード一体型フォームの製造を行っている。

【0009】図4Bに示すような従来の構造のカード一体型フォームの場合は、連続フォームの表面側は概して平滑であるため、NIPによる印字適性はあるが、ダイカット止め33に沿ってカード34を連続台紙31から取り外す際、ダイカット止め33における非カット部分33bが綺麗に切離することができず、カード34の体裁を損ねるという問題を有していた。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】従来のこの種のカード発行システムにおけるカード並びに台紙の組み合わせ構成は、上記するようなものが開発され提供されてきているものの、そのそれぞれは、いずれも一長一短を有するものであって、製作者側並びに使用者側の双方において合理的でかつ都合良いカード発行システムにおけるカード並びに台紙の組み合わせ構成の開発が要望されている。

【0011】そこで、この発明は、従来の上記するカード発行システムにおけるカード並びに台紙の組み合わせ構成にみられる欠点ないしは問題点を解消しようとするものであり、特定の情報を処理してなるカードと、該カードの処理情報に対応する特定の情報を処理してなる情報処理シートとを一括して取り扱い得るように、情報処理シートをコンピュータ装置等における連続印字処理システムに適合するように形成した連続フォームとして、連続フォームの印字面側を平滑に構成し、且つカードを連続フォームに一体的に組み込み、該連続フォームから容易に且つ綺麗に剥離可能にしたカードを一体的に組み込んだ連続フォームを提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】この発明は、上記する目的を達成するにあたって、具体的には、コンピュータ装置などによるデータ印字処理が可能であり、印字送り長さ方向に所定の間隔をおいて設けた横断ミシン目線によって単位フォームを区画形成してなる連続フォームと、前記連続フォームの裏面側であって、各单位フォーム域毎に予め定められた領域部分に対して取り付けられる横寸法 $X_1$ 、縦寸法 $Y_1$ でなる裏当て構造体とからなり、前記裏当て構造体は、前記連続フォームの裏面に第1の接着剤層を介して貼り合わされる透明シート層と、前記透明シート層の他方の面に第2の接着剤層を介して貼り合わされる貼付紙とからなり、前記連続フォームの裏面

4

側に取り付けられる裏当て構造体の領域内に、横寸法 $X_2$  ( $X_2 < X_1$ )、縦寸法 $Y_2$  ( $Y_2 < Y_1$ )でなるカード形成領域を、前記連続フォームの表面側から前記貼付紙の表面に達するダイカットによって区画形成してなり、前記連続フォームの表面側であって、前記単位フォーム域毎に、前記カード形成領域およびその残余領域に対応印字処理が可能な印字部を備え、前記カード形成領域を前記透明シート層と前記第2の接着剤層との間で剥離可能にしたカードを一体的に組み込んだ連続フォームを構成するものである。

【0013】さらに、この発明では、前記裏当て構造体における前記第1の接着剤層と前記透明シート層とが、一方の面に粘着剤層を備えた透明フィルムラベルによって構成されるものからなり、前記透明フィルムラベルを前記粘着剤層を介して前記連続フォームの裏面側に貼り合わせてなる構成を含むものでもある。

【0014】さらにまた、この発明では、前記連続フォームの裏面側であって、前記各单位フォーム域におけるカード形成領域毎に、所望の伝達情報を予め印刷処理によって表示形成してなる構成を含み、前記各カード形成領域毎に、前記ダイカットに隣接して前記第2の接着剤層の一部を部分的に除去してなる構成をも含むものでもある。

【0015】

【実施例の説明】以下、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームについて、図面に示す具体的な実施例にもとづいて詳細に説明する。図1は、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームの具体的な第1の実施例を示す概略的な斜視図であり、図2は、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームの具体的な第2の実施例を示す概略的な斜視図であり、図3Aは、図1におけるA-A線に沿った断面を特に厚さ方向に拡大して示すA-A線拡大断面図であり、図3Bは、カード体Cを剥離した状態を示すA-A線拡大断面図である。

【0016】この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームは、連続フォーム1と、裏当て構造体2との組み合わせによって構成される。この発明において、前記連続フォーム1は、コンピュータ装置等における連続印字処理システムに適合するように、その送り長さ方向に沿った両側にマージナルホール列3、3と、当該マージナルホール列3、3の内側に沿ったマージナルホール列切離ライン4、4と、送り方向に所定の間隔をおいて設けた横断ミシン目線5とを備えており、前記マージナルホール列切離ライン4、4と、前記横断ミシン目線5、5とにより単位フォーム6をそれぞれ区画形成する。

【0017】前記連続フォーム1は、その表面1aに対して、連続印字処理システムによって対応印字処理が可能である印字部を形成する。前記連続フォーム1におけ

る印字部は、図1に示す第1の実施例のものにあっては、前記単位フォーム6毎に、前記連続フォーム1の印字送り長さ方向に平行する第1の印字処理帯域7および第2の印字処理帯域8とによって構成される。図に示す例において、前記第1の印字処理帯域7は、当該連続フォーム1への直接的な情報印字欄9を含み、前記第2の印字処理帯域8は、後述する裏当て構造体2を取り付けるための裏当て構造体取り付け領域部分10を含むものからなっている。図1に示す第1の実施例において、参照符号11は、前記単位フォーム6を二つ折りにするための折畳み線を示すものである。

【0018】一方、この発明において、前記裏当て構造体2は、概して、横寸法 $X_1$ 、縦寸法 $Y_1$ でなる積層構造体のものからなっている。前記裏当て構造体2は、前記連続フォーム1の裏面1bに第1の接着剤層12を介して貼り合わされる透明シート層13と、前記透明シート層13の他方の面13bに第2の接着剤層14を介して貼り合わされる貼付紙15とからなっている。

【0019】この発明において、前記透明シート層13は、その一例において、ポリエチレンテレフタレート（PET）等の自己粘着性を有するシート材によって構成されるものであり、第1の接着剤層12を介して前記連続フォーム1の裏面1bに対して貼り合わされる。

【0020】前記裏当て構造体2における前記第1の接着剤層12と前記透明シート層13とは、一方の面に粘着剤層を備えた透明フィルムラベルによって構成されるものをも含み、この透明フィルムラベルを粘着剤層を介して前記連続フォーム1の裏面側1bに貼り合わせたものであってもよい。

【0021】さらに、この発明では、前記連続フォーム1の裏面側1bに取り付けられる裏当て構造体2の面域内に対し、横寸法 $X_2$ （この横寸法 $X_2$ は、前記裏当て構造体2の横寸法 $X_1$ より小さい、即ち $X_2 < X_1$ である）、縦寸法 $Y_2$ （この縦寸法 $Y_2$ は、前記裏当て構造体2の縦寸法 $Y_1$ より小さい、即ち $Y_2 < Y_1$ である）でなるカード形成領域16を区画形成するためのダイカット17が設けられている。

【0022】前記ダイカット17は、前記連続フォーム1の表面側1aから前記貼付紙15の表面15aに達するものからなっている。前記カード形成領域16は、前記ダイカット17に沿って前記透明シート層13と前記第2の接着剤層14との間で剥離可能になっている。

【0023】この発明において、前記連続フォーム1の裏面側1bであって、前記各単位フォーム域6におけるカード形成領域16毎に、所望の伝達情報等18が予め印刷処理によって表示形成してある。

【0024】さらに、この発明では、前記各カード形成領域16毎に、前記ダイカット17に隣接して前記第2の接着剤層14の一部を部分的に除去しておくことができ、それによって、前記カード形成領域16部分の剥離

作業を容易にする。

【0025】一方、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームは、以下に示すような手順に沿って形成される。まず、周知の手順に従って、例えば、図1あるいは図2に示すような態様の連続フォーム1が所望の印刷工程を経て準備される。次いで、前記連続フォーム1の裏面側1bに対し、その各単位フォーム6における裏当て構造体取り付け部位に第1の接着剤層12が塗布され、第1の接着剤層12を介して透明シート層13が貼り合わされる。この場合、別の実施例にあっては、第1の接着剤層12および透明シート層13の構成に代えて、一方の面に粘着剤層を備えた透明フィルムラベルを、粘着剤層を介して前記連続フォーム1の裏面側1bに貼り合わせたものであってもよい。

【0026】前記連続フォーム1の裏面側1bに第1の接着剤層12を介して貼り合わせた透明シート層13の裏面13bに、あるいは前記透明フィルムラベルに第2の接着剤層14を塗布形成し、前記第2の接着剤層14を介して貼付紙15を貼り合わせる。

【0027】しかる後、前記連続フォーム1の表面側1aから前記貼付紙15の表面15aに達するダイカット17を形成して、前記カード形成領域16を区画形成する。このダイカット17によって、前記カード形成領域16は、前記透明シート層13と前記第2の接着剤層14との間で剥離可能であり、剥離操作によって、カード体Cを単位フォーム6から分離させることができるようになっていく。

【0028】

【発明の効果】以上の構成になるこの発明のカードを一体的に組み込んだ連続フォームは、構造が極めて簡単なものであって、既存の各種加工処理装置に対して変更なく適用することができるものであり、それらの点において製造が容易であり、かつ多量生産に適合するなど、経済的にも極めて有利に作用するものといえる。

【0029】さらに、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームは、製作者側においては、カードへの情報処理並びに単位フォームへの情報処理を、一致対応させて同時に処理することができる点、印字面が平滑であるのでNIP印字処理適性に優れたものである点、カード裏面に透明フィルムを貼り付けてあるので紙カードに比べて高級感があり、耐久性に優れている点、カードと単位フォームとが一体となっているので特定の情報ごとに対応させてマッチング処理する必要がない点等において極めて有効に作用するものといえる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームの具体的な第1の実施例を示す概略的な斜視図である。

【図2】図2は、この発明になるカードを一体的に組み込んだ連続フォームの具体的な第2の実施例を示す概略

的な斜視図である。

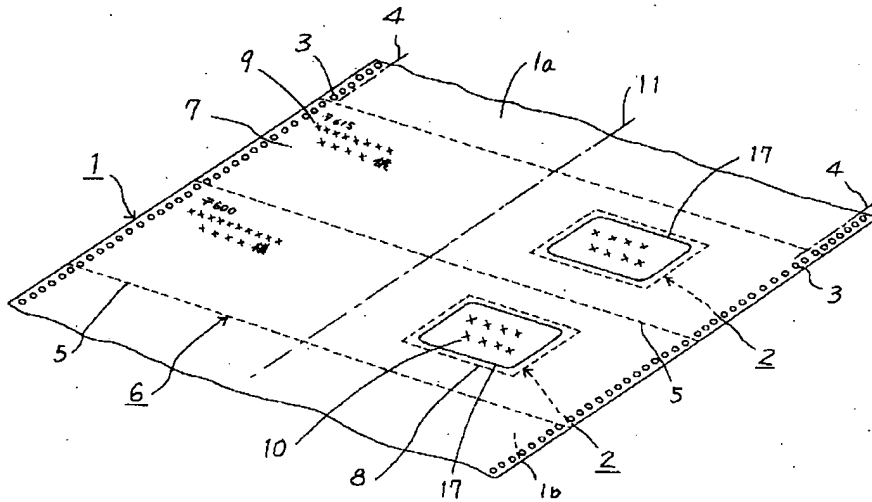
【図3】図3Aは、図1におけるA-A線に沿った断面を特に厚さ方向に拡大して示すA-A線拡大断面図であり、図3Bは、カード体Cを剥離した状態を示すA-A線拡大断面図である。

【図4】図4は、従来のカード付き連続フォームの異なる具体例を示すものであって、図4Aは、その第1の従来例を示す概略的な拡大断面図であり、図4Bは、第2の従来例を示す概略的な斜視図である。

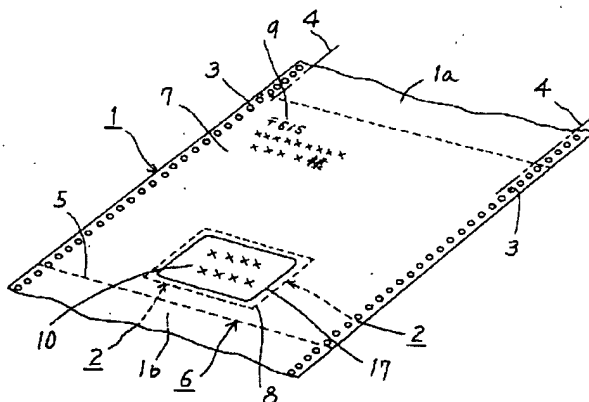
【符号の説明】

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 連続フォーム      | 5、5 横断ミシン目線       |
| 2 裏当て構造体      | 6 単位フォーム          |
| 3、3 マージナルホール列 | 7 第1の印字処理帯域       |
|               | 8 第2の印字処理帯域       |
|               | 9 情報印字欄           |
|               | 10 裏当て構造体取り付け領域部分 |
|               | 12 第1の接着剤層        |
|               | 13 透明シート層         |
|               | 14 第2の接着剤層        |
|               | 15 貼付紙            |
|               | 16 カード形成領域        |
|               | 17 ダイカット          |
|               | 18 所望の伝達情報        |

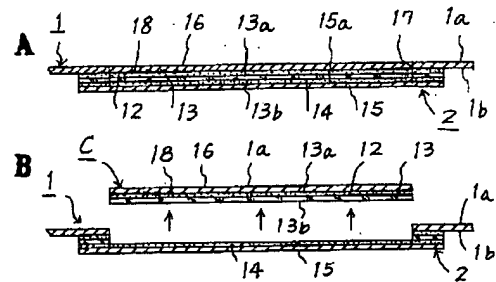
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

